

2009年12月期(第31期) 第2四半期決算説明資料

2009年8月7日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2009年12月期第2四半期(累計)業績概要(1)

<経済の動向>

- ① 我が国経済は依然として厳しい状況で推移
昨年後半からの急速かつ深刻な景気後退に伴う
 - ・輸出の大幅減少
 - ・生産活動の調整
 - ・企業収益の悪化
 - ・雇用情勢や設備投資の悪化

- ② 世界経済も深刻な状況
 - ・世界的な金融危機と実体経済悪化を懸念
 - ・一部には持ち直しの動きあり

2009年12月期第2四半期(累計)業績概要(2)

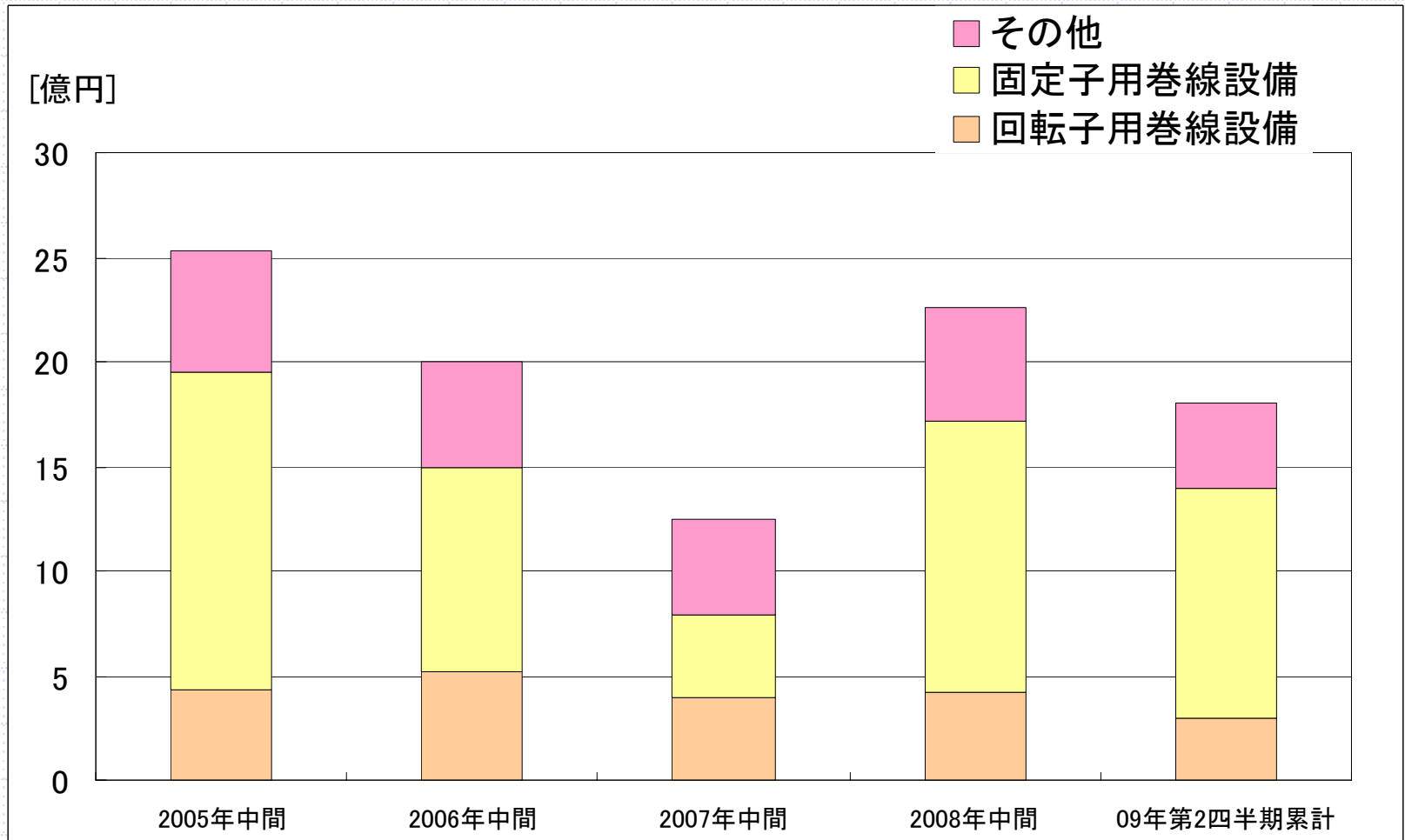
<ODAWARAグループの活動>

- ① 生産面は前期からの受注案件を中心に概ね順調に推移
- ② 受注面は経済動向の影響を受け、受注高809百万円に留まる
- ③ 連結業績の概要
 - ・売上高1,804百万円を計上
 - ・開発要素の高い案件の売上、売上の未達が生じ、営業利益104百万円、経常利益121百万円
 - ・特別損失たな卸資産評価損10百万円を計上し、四半期純利益59百万円

経営指標等の推移(連結)

	2005年中間	2006年中間	2007年中間	2008年中間	09年第2 四半期累計
売上高 (百万円)	2,525	1,996	1,246	2,253	1,804
経常利益 (百万円)	387	142	99	454	121
中間純利益 (百万円)	206	112	49	146	59
純資産額 (百万円)	6,762	6,805	6,856	6,989	7,075
総資産額 (百万円)	9,132	8,102	8,080	8,965	8,205
1株当たり純資産 (円)	1,071	1,114	1,163	1,186	1,201
1株当たり四半期・ 中間純利益 (円)	32.69	17.81	8.37	24.79	10.03
売上高経常利益率 (%)	15.4	7.1	8.0	20.2	6.7

製品別売上高推移(連結)



業績推移(連結)

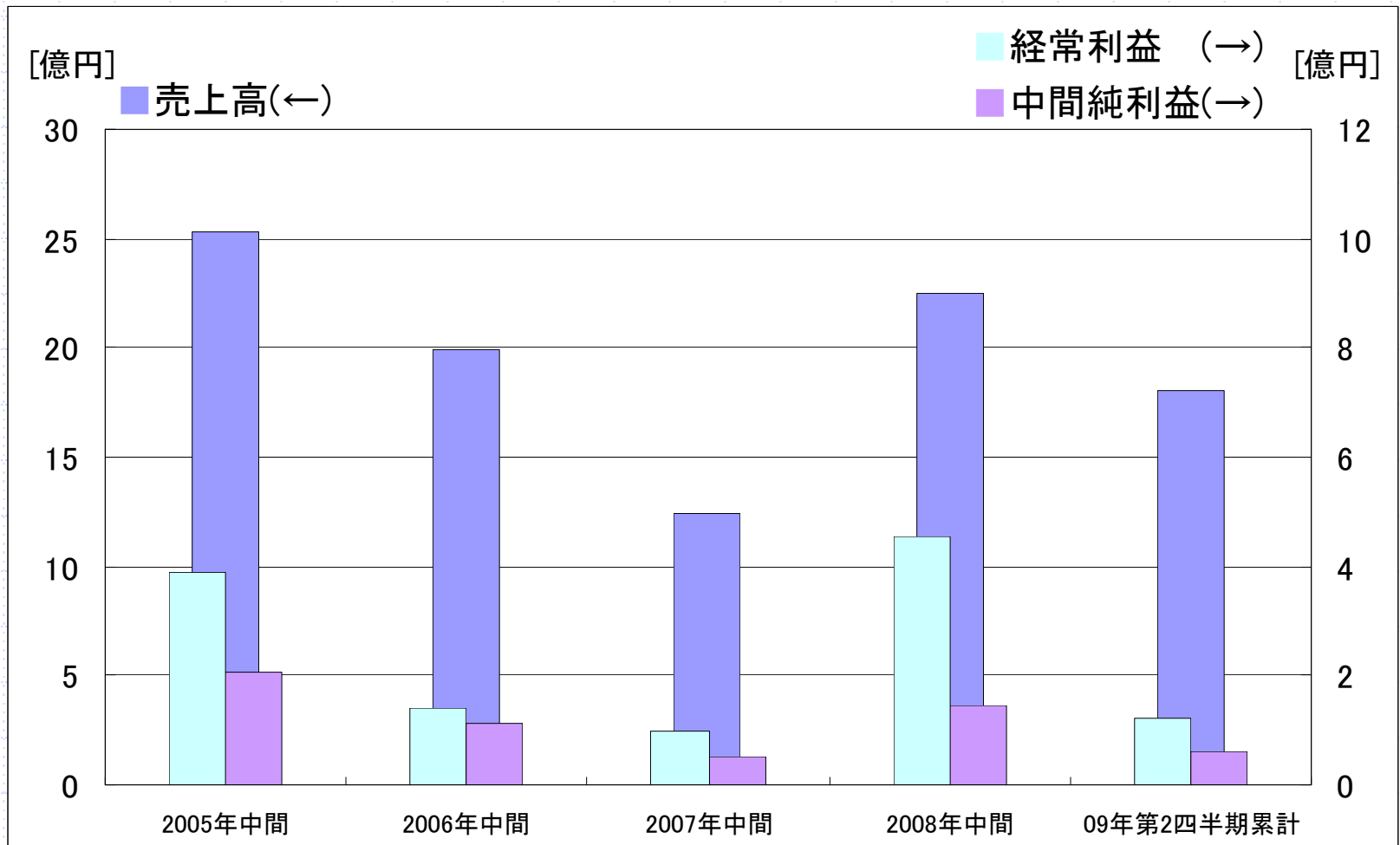
2005年：大口案件の売上計上が下期へ遅延、原価低減は奏功

2006年：モーター製造業界の設備投資鈍化、原価率の悪化

2007年：モーター製造業界の設備投資低調の影響

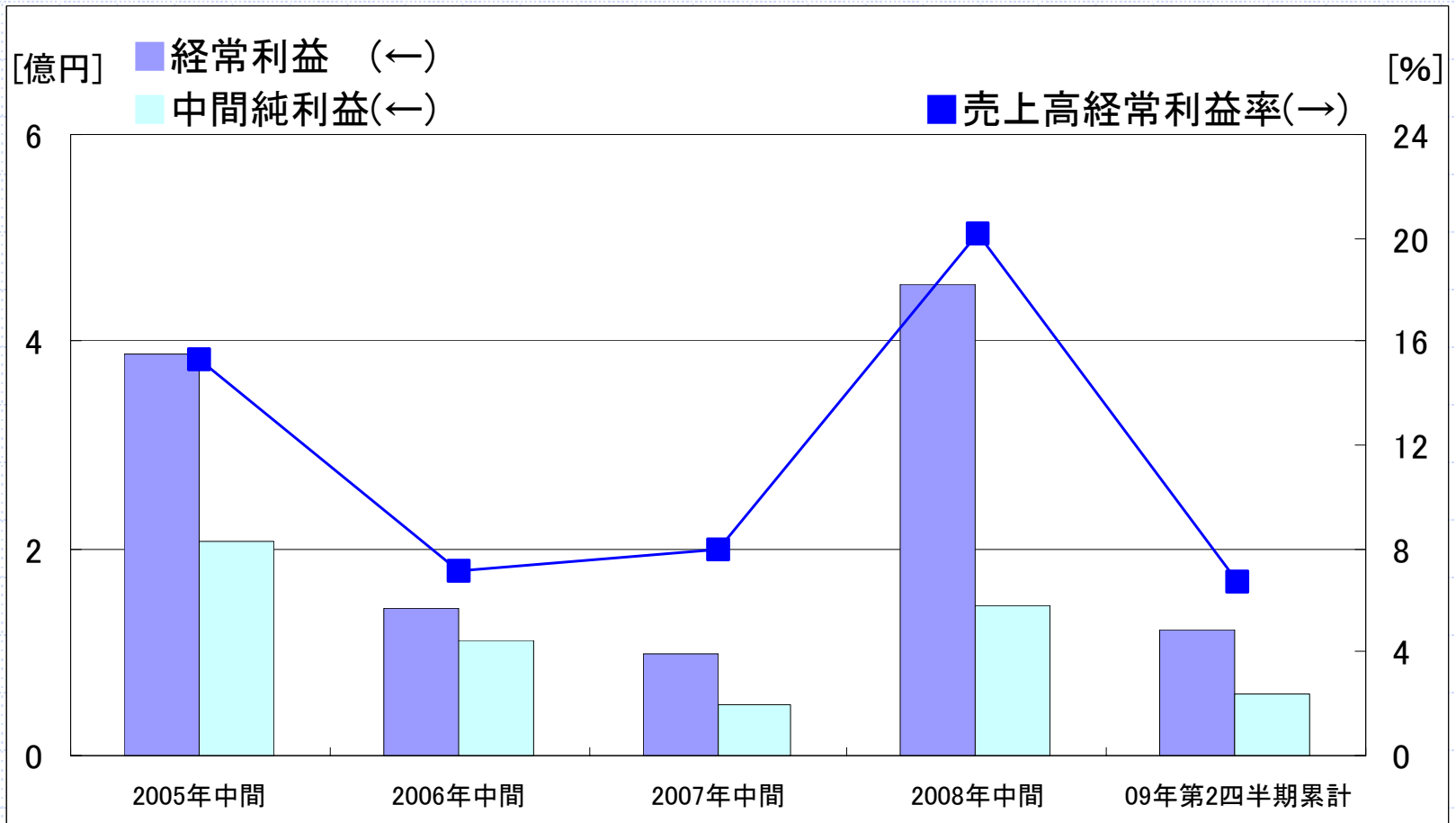
2008年：土地の減損損失1.14億円を計上

2009年：開発案件の売上、売上の未達、棚卸資産評価損0.1億円を計上

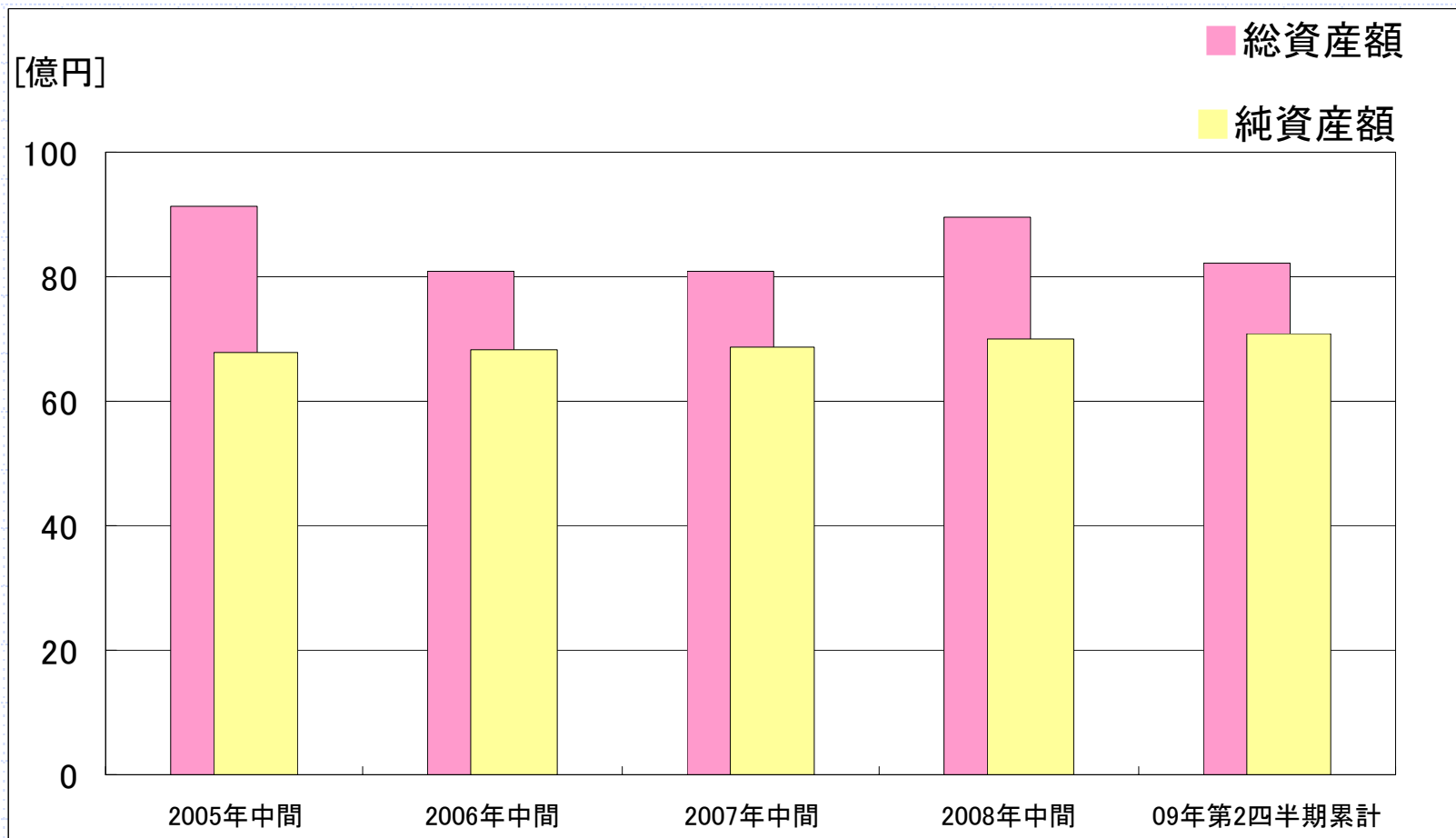


經常利益・中間純利益

・売上高經常利益率(連結)

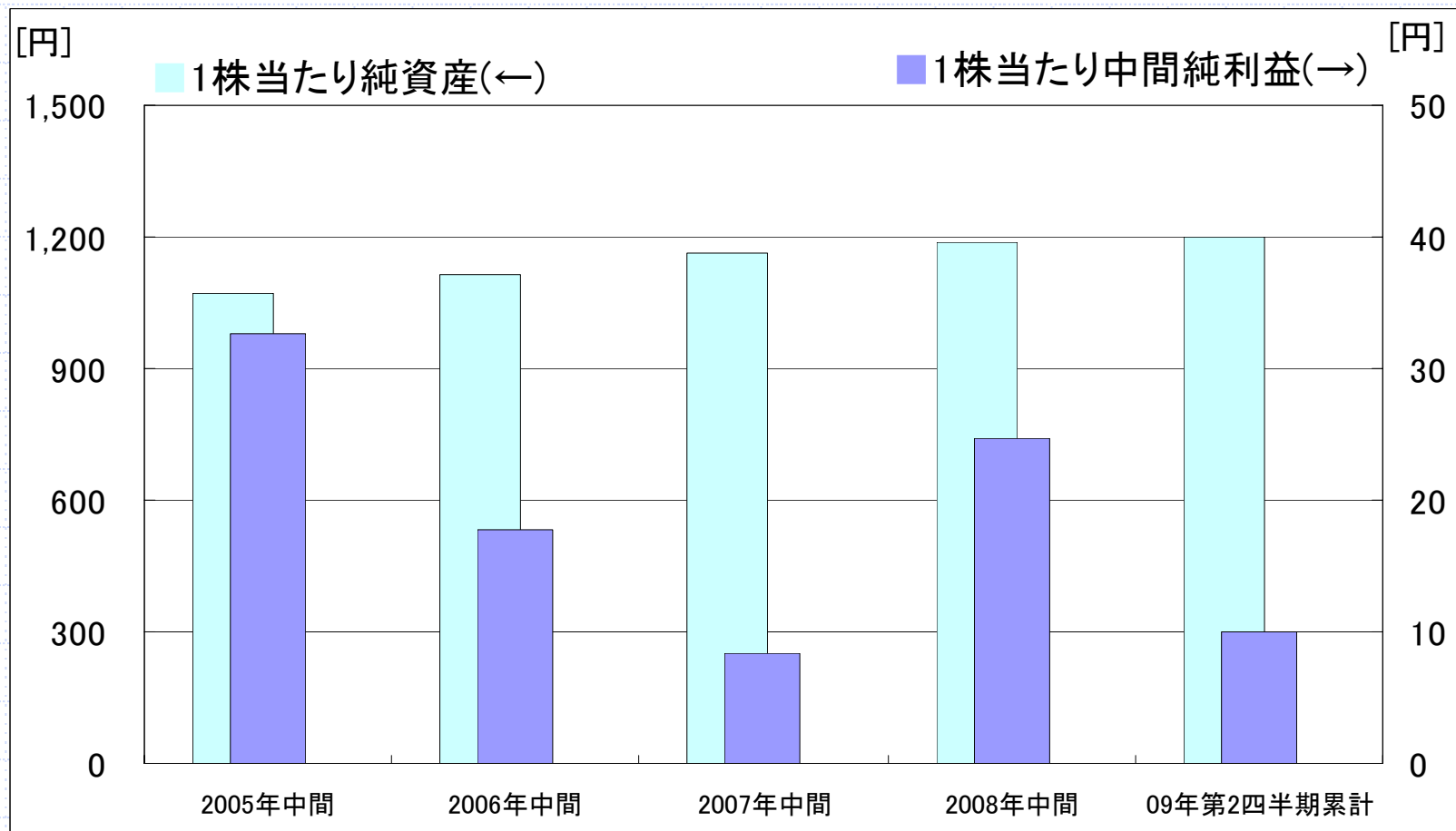


総資産額・純資産額(連結)

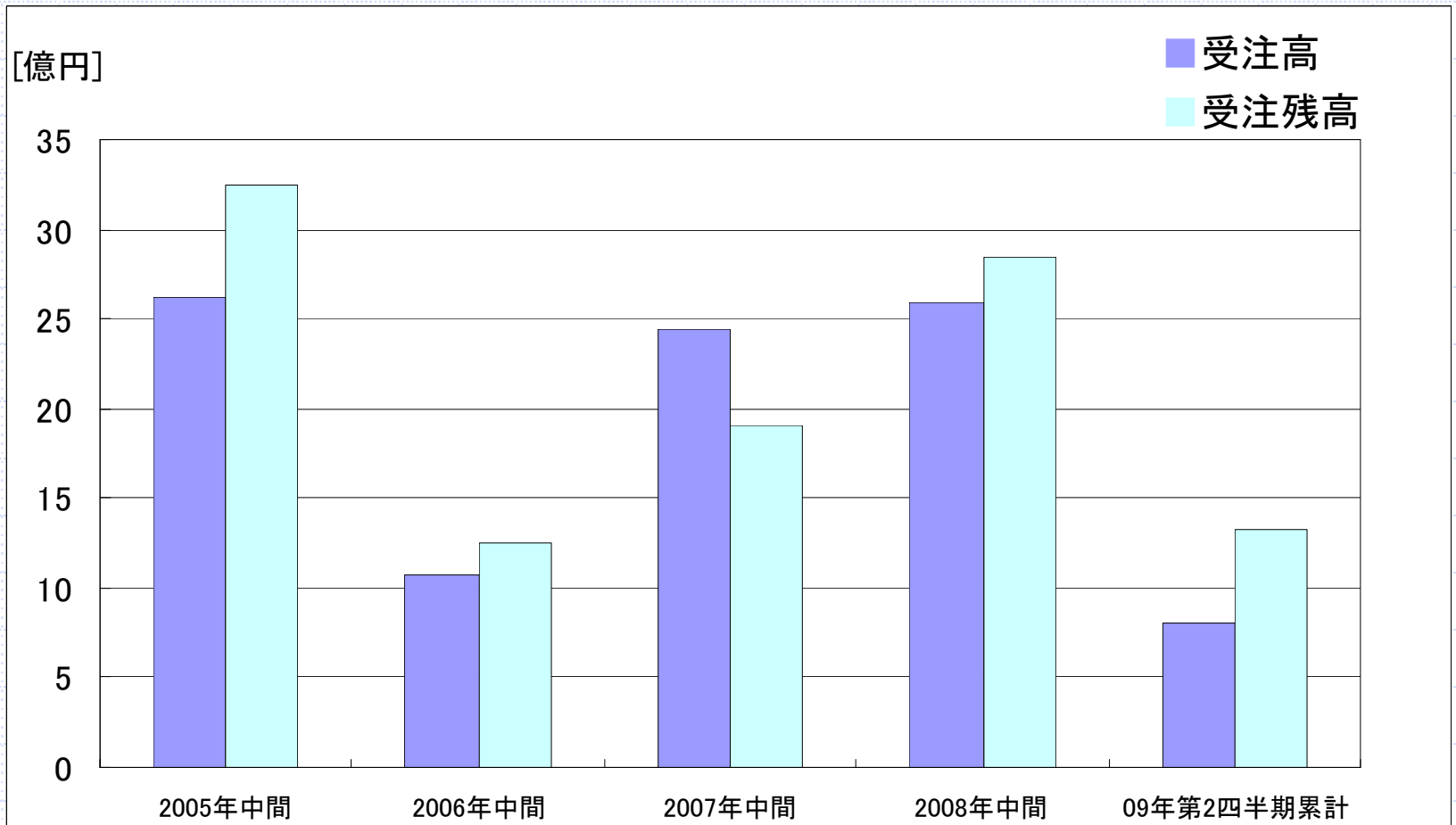


1株当たり純資産額

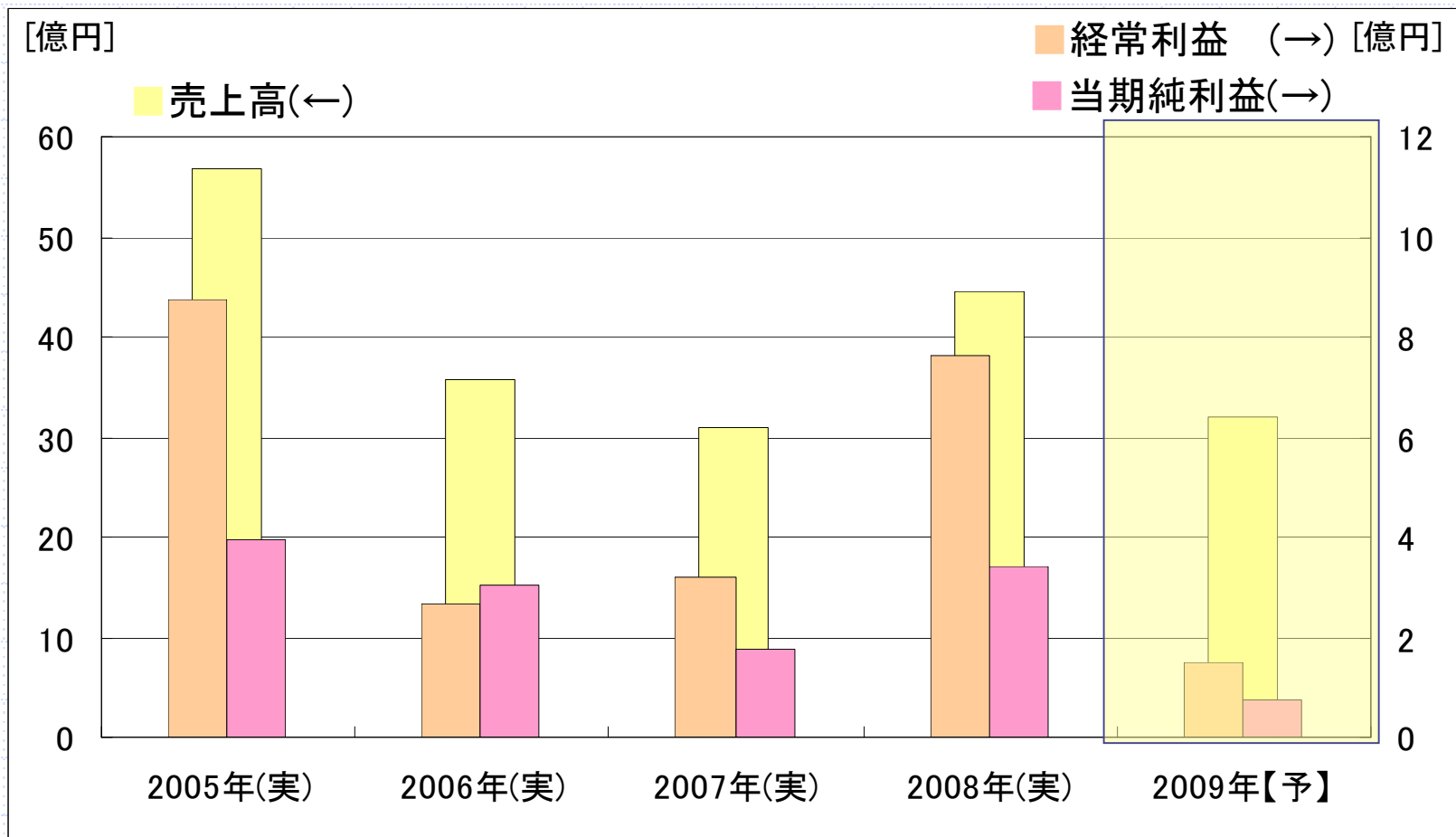
・ 1株当たり中間純利益(連結)



受注動向(連結)



通期業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング